資料５

産業振興マスタープラン後期計画の考え方

中期計画から継続

【目指す将来像】

地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が育ち、育てるまち　西東京

【目標】

『業（ぎょう）』として収益を上げ、市の財政に貢献するとともに、雇用を生むという効果

産業の『多面的な役割』を活かして、市民生活の安心を支えるという効果

『地域の顔・イメージ』をつくり、地域の価値や市民の愛着を高める効果

【市の産業を取り巻く状況の現状・変化】

(1) 国・都の動向や統計データ

(2) 中期計画の進ちょく（調書による庁内分析）

(3) 市内事業者や各種団体等に対するヒアリング調査

(4) 消費者（エンドユーザー）調査

【目指すべき方向性（案）と事業（例）】

方向性１　持続可能な「農」が共存するまちをつくる

（農業）

農地減少や担い手不足等の課題を解決し、稼ぐ力のある農業を実現する。また、農業・農地の持つ多面的な機能やまちの「魅力」としての価値を市民に実感してもらうことで、西東京市らしい都市と「農」の共存を目指す。

農地の保全と活用
- 花摘みの丘の活用
- 農のアトリエ「蔵の里」の活用
- 災害協力農地の拡大
- 直売所の魅力充実　など

農を通じた交流の促進
- 農とのふれあい散歩道づくり
- 緑のアカデミー事業の実施
- 親子で野菜づくりにチャレンジの実施
- 市民農園の新しい展開　など

方向性２　身近な「商店街」が暮らしを支えるまちをつくる

（商店街）

商店街と地域との連携図るともに、商店街の新たな価値を創造し、地域コミュニティの核や日常生活の拠点としての役割を発揮していく。また、魅力ある個店の創出により、にぎわいのある「商店街」の実現を目指す。

商店街組織の強化
- 商店街組織の強化に向けた支援
- 商店会連絡会議の開催
- 生鮮４品の整備支援に係る情報交換・収集　など

新たな価値の創造
- 駅周辺エリアごとの一体的な商店街振興の支援についての調査・研究
- 空き店舗活用の支援の検討
- 空き店舗情報のマッチング　など

方向性３　多様な「しごと」が生まれ循環するまちをつくる

（商業・サービス、ものづくり）

経営を担う人材育成や事業者間マッチング等により、事業を継続・発展できる経営環境を整える。また、活発化している起業・創業をさらに推進し、多様化する就労ニーズにも応えられる「しごと」があるまちを目指す。

経営基盤の強化
- 経営（営業）力の強化に向けた各種セミナーの実施
- 融資あっせん制度の実施
- 人材育成に向けた各種セミナーの実施　など

起業・創業の促進
- 創業に関する相談・助言の実施
- 創業サポート施設の運営指導
- チャレンジショップ事業の実施
- 女性の働き方サポート推進事業　など

方向性４　魅力ある「西東京ブランド」が輝くまちをつくる

（横断的視点）

多様な事業者、市民、地域等の連携を図りながら、情報発信、イベント開催、観光まちづくりの推進等に取り組む。また、様々な資源を活かした「西東京ブランド」を生み出し、市内外にＰＲすることで、人を呼び込めるまちを目指す。

西東京ブランドの情報発信・PR
- 一店逸品事業の推進
- 産業ニュース等の発行
- めぐみちゃんメニューの推進　など

新たな連携の創出
- マッチング・コーディネートの推進
- 産学公金連携事業の検討・実施
- 同業種・異業種交流会の実施　など

イベント開催によるにぎわいづくり
- 地元連携型イベントの実施
- 企画提案型イベントの実施　など

観光まちづくりの推進
- まち歩き観光の推進
- 広域的な観光まちづくりの推進　など